

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D. I.**は、「悪い」超幅が縮小した。  
—— 製造業は、「悪い」超幅が縮小した。非製造業は、「悪い」超幅が小幅拡大した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	はん用・生産用・業務用機械、繊維、輸送用機械、木材・木製品、電気機械	自動車関連受注の好調持続 IT 関連受注の持ち直し 住宅向けの出荷増
	悪化	食料品、鉄鋼	天候不順や競合激化に伴う販売不振 東京五輪関連の受注下振れ
非製造業	改善	対事業所サービス、建設	公共工事受注の獲得など
	悪化	対個人サービス、不動産、宿泊・飲食サービス、小売	天候不順等に伴う個人消費の減速 観光需要の弱さ

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。  
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大する見通し。

(事業計画)

- 2016 年度の**売上高**は、前年を幾分下回る計画、**経常利益**は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、売上高、経常利益ともに下方修正となった。

—— 経常利益は、製造業で、合理化によるコスト削減などを見込んでおり、増益計画となっている。非製造業は、県外の復興関連工事の一巡などを見込んでおり、減益計画となっている。

—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、既往の円高による為替差損の計上などから、下方修正となった。非製造業では、個人消費の減速などから、下方修正となった。

- 2016年度の**設備投資**は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、下方修正となった。

—— 製造業は、海外および国内向けの能力増強投資が計画されており、前年を上回る計画となっている。非製造業は、前年度の大型投資の反動などから、前年を下回る計画である。

—— 前回調査対比では、製造業で、受注堅調に伴う追加的な増投資などにより、上方修正となった。非製造業では、新規出店の遅れなどから、下方修正となった。

(その他の判断項目)

- **販売価格判断D. I.**は、「下落」超幅が縮小した。**仕入価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が拡大した。
- **雇用人員判断D. I.**は、「不足」超幅が拡大した。
- **資金繰り判断D. I.**は、「楽である」超幅が小幅に縮小した。**貸出態度判断D. I.**は、前回調査並みの「緩い」超幅となった。**借入金利水準判断D. I.**は、「低下」超幅が縮小した。

以 上